

網膜対応の種類

網膜対応 retinal correspondence



正常対応の対話は対応異常
異常対応ではない！

正常対応 normal retinal correspondence (NRC)

斜視があっても両眼中心窩が共通の視方向を持ち、その他の両眼網膜の各点が互いに両中心窩を中心として共通の視方向を持って対応する関係を言う
両眼の網膜中心窩が共通の視方向を持つ (OA=SA) 平井淑江: 視能学 P305 表2

対応異常 abnormal (anomalous) retinal correspondence

両眼の網膜中心窩は同一の視方向を持たない 平井淑江: 視能学 P305 表2
網膜正常対応以外の網膜対応関係を総称している 加藤和男: 視能矯正-理論と実際 P367
正常対応が証明されないものである 丸尾敏夫・久保田伸枝: 主に斜視・弱視アトラス P30

二重対応 dual retinal correspondence (DRC)

同じ患者が時によって網膜正常対応と網膜異常対応とを示す場合をいう。 加藤和男: 視能矯正増補第3版 P367
大型弱視鏡の検査で正常対応と対応異常の2つの形態をもつ。間欠性外斜視で、外斜視時に異常対応又は対応欠如、正位時には自覚的斜視角が0°ないしその付近にあるもの 丸尾敏夫・久保田伸枝: 主に斜視・弱視アトラス P30
正常対応と対応異常の2つの形態をもつ(間欠性外斜視に認められる) 平井淑江: 視能学 P305 表2

狭義異常対応 abnormal (anomalous) retinal correspondence (ARC)

両眼網膜の非対応点(一眼の中心窩と他眼の中心窩以外の網膜点)で外界の像の受け取りが行われて非対応点が共通の視方向を持つようになった両眼視機能の異常 加藤和男: 視能矯正増補第3版 P367
一眼の中心窩と他眼の中心窩以外の点で共通の視方向を持っている 山本裕子: 斜弱診断検査法 P93
他覚的斜視角と全く一致しない位置で自覚的斜視角が証明されるもの 丸尾敏夫・久保田伸枝: 斜視・弱視アトラス P30
平井淑江: 主に視能学 P305 表2参考

異常対応の証明

- I. 両眼の網膜中心窩は同一の視方向を持たない
- II. 固視眼の中心窩と斜視眼の中心窩以外の領域が対応する

対応欠如 lack of retinal correspondence (LRC)

両眼のそれぞれが別の視空間を持ち、その間に関係を持っていない単眼視の状態である。術後複視に悩まされることはない 左右それぞれの眼で見ている図形がどの方向に動かしても重ならないか、交叉する感覚が起こらない状態を言う、大型弱視鏡検査の用語 加藤和男: 視能矯正増補第3版 P367
検査上、斜視眼に対応点が検出できない 平井淑江: 視能学 P305
自覚的斜視角が証明されないもの 丸尾敏夫・久保田伸枝: 斜視・弱視アトラス P30

調和性異常対応 harmonious abnormal (anomalous) retinal correspondence (H. ARC)

一眼の中心窩と他眼のちょうど斜視角(他覚的)に一致する網膜部位とが対応しているというもの
固視眼の中心窩と斜視眼道づれ領が対応 (OA=SA=OA SA=0°) 平井淑江: 視能学 P305 表2

不(非)調和性異常対応 unharmonious abnormal (anomalous) retinal correspondence (unH. ARC)

両眼の中心窩と中心窩が対応せず、なおかつ一眼の中心窩と他眼の斜視角(他覚的)に一致しないもの
斜視眼の非対応点の位置(角度)が他覚的斜視角より小さい(異常角が斜視角より小さい)異常対応 加藤和男: 視能矯正学 P413
固視眼の中心窩と斜視眼の中心窩と道連れ領の間の領域で対応。(OA>SA>0°) 平井淑江: 視能学 P305 表2